

職員による自己評価

A環境面

- ・定員に対する活動スペースは十分にある。
- ・男性職員が少なく増員の声がある。
- ・支援に支障が出ない配置人数ではあるが、もう少し余裕があってもいいように感じる。
- ・研修の機会が少なく感じる。

B児童への支援内容

- ・担当日を支援員で割り振り、以前よりも活動内容の幅が増えた。職員全員がプログラム立案、計画に関わっている。
- ・アセスメントツールの使用はしていない。
- ・日々の打合せは毎日実施している。
- ・計画書の課題に基づいた支援員視点の意見聴取を文書で行っている。

C関係機関との連携

- ・昨年同様、コロナ禍も影響し外部との連携は少ない年度となったが、学校・相談員等との必要な情報交換は実施できていた。
- ・自立支援協議会には参加できず。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・会報の配布を開始したが、不定期となっている。
- ・保護者同士の連携は希望があれば検討する。
- ・コロナ禍もあり地域との関わりができなかった。

E非常対応

- ・避難訓練は定期的実施できている。
- ・アレルギー表の作成、掲示を実施。
- ・虐待に関する研修が未実施。
- ・事故、ヒヤリハットの共有はできている。

保護者による評価

A環境面

- ・スペース、配置数については概ね満足をしている。
- ・職員配置数は適切との意見を多くいただいたが、退職者や異動が多く不安。専門性に欠ける人が多い、職員配置が分からないとのご意見もある。
- ・一時減った人員が増えてきて安心している。

B児童への支援内容

- ・プログラム内容に関して、固定化せず以前より工夫されているとのご意見多くあり。
- ・長期休みに運動プログラム等が出来る嬉しい。
- ・事業所外の人と交流する機会が無い。

C事業所からの情報発信

- ・職員への教育がされているのか疑問。
- ・保護者会開催を希望されるご意見はなかった。

D非常対応

- ・災害時の避難訓練の周知はされている。
- ・各種マニュアルについては不明との意見がある。

E満足度

- ・支援について多くの保護者様に満足とのご意見をいただいている。
- ・事業所に対し不信感があり退所を考えているとのご意見もある。

事業所内での分析

【共通点】

活動スペースやプログラムの内容については以前より工夫されてきていると職員、保護者様ともに感じている。職員育成に関して見直しが必要と感じる。

【相違点】

各種マニュアルについては HP でも閲覧していない方が多く、改めて不足しているマニュアルも含め再周知を図る必要がある。職員配置についても同様。

